

学校教育自己診断結果表【教員用】			教員数	109	回答者数	109	回答率	100.0%
	質問	A よく あてはまる	B まあまあ あてはまる	C あまり あてはまらない	D まったく あてはまらない	肯定的返答	否定的返答	
教育活動に関するもの	1	教員間で常にコミュニケーションを図り、様々な情報について共有を図っている。	55.0%	43.1%	1.8%	0.0%	98.2%	1.8%
	2	児童生徒の人権を十分に尊重して家庭と連携を図り、日常生活指導を含む教育活動全般に活かしている。	59.6%	40.4%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	3	年間の学習指導計画や、指導内容について、日常的に各部、学年、教科、グループ等で話し合い、児童生徒の実態に合わせて、適宜指導内容や指導方法の工夫・改善を行っている。	37.0%	56.5%	6.5%	0.0%	93.5%	6.5%
	4	学習評価では3観点を意識し、バランスよく評価している。	33.3%	59.3%	7.4%	0.0%	92.6%	7.4%
	5	児童生徒が日常生活に必要な知識と技能を身に付けられるよう、カウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている。	41.7%	54.6%	3.7%	0.0%	96.3%	3.7%
	6	家庭訪問、懇談会、日々の連絡帳等を通じて保護者と連携するとともに、個人情報の管理・活用をしている。	65.1%	33.9%	0.9%	0.0%	99.1%	0.9%
	7	児童生徒が集団生活に参加し、自分の役割を果たすことができるような指導・支援を行っている。	47.2%	50.9%	1.9%	0.0%	98.1%	1.9%
	8	学校の教育活動全般において、避難訓練、防犯訓練などの防災教育、交通安全教室などの安全教育に取り組んでいる。	44.0%	49.5%	6.4%	0.0%	93.6%	6.4%
	9	児童生徒の発達段階や実態に応じて、生命の大切さや社会のルールについて、学ぶ機会をつくっている。	33.3%	60.2%	5.6%	0.9%	93.5%	6.5%
	10	児童生徒の健康や障がいの状況について保護者と連携するとともに、医療機関との連携に取り組んでいる。	34.3%	56.5%	9.3%	0.0%	90.7%	9.3%
	11	児童生徒が将来の進路や生き方について考える機会を設けたり、一人ひとりが興味・関心・適性に応じた進路選択ができるように丁寧な指導を行っている。	30.8%	59.8%	8.4%	0.9%	90.7%	9.3%
	12	一人一台端末を、授業など児童生徒の学習活動に活用している。	33.3%	51.9%	13.0%	1.9%	85.2%	14.8%
	13	運動会や学習発表会、校外学習、修学旅行などの学校行事が児童生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	46.3%	44.4%	8.3%	0.9%	90.7%	9.3%
	14	食に関する指導を、年間計画に基づいて実施している。	29.0%	51.4%	15.9%	3.7%	80.4%	19.6%
	15	児童生徒の健康や障がいの状況について保護者と連携するとともに、医療機関等との連携にも取り組んでいる。	32.3%	57.6%	10.1%	0.0%	89.9%	10.1%

学 校 経 営 に 関 す る も の	17	校長は、自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにし、職朝や職員会議等で教職員に伝えている。	48.6%	46.8%	3.7%	0.9%	95.4%	4.6%
	18	学校運営に、分掌部会や学部会、学年会などの会議の内容や教職員の意見が反映されている。	22.9%	59.6%	14.7%	2.8%	82.6%	17.4%
	19	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員は意欲的に取り組んでいる。	15.7%	58.3%	25.9%	0.0%	74.1%	25.9%
	20	各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能している。	14.7%	54.1%	30.3%	0.9%	68.8%	31.2%
	21	教室や特別教室（掲示・作品展示を含む）は清掃、整理整頓され、知的障がい支援学校の児童生徒の生活の場に適した教育環境が整っている。	12.8%	39.4%	38.5%	9.2%	52.3%	47.7%
	22	各教科の備品や教材教具は計画的に購入され、適切に活用されている。	14.7%	60.6%	21.1%	3.7%	75.2%	24.8%
	23	教育活動に必要な情報について、児童生徒、保護者や地域への周知に努めている。	22.2%	69.4%	7.4%	0.9%	91.7%	8.3%
	24	児童生徒の個人情報に関する管理システムが確立され、適切に取り扱われている。	25.9%	64.8%	8.3%	0.9%	90.7%	9.3%
	25	教職員はPTA活動に協力している。	22.2%	54.6%	23.1%	0.0%	76.9%	23.1%
	26	情報提供の手段として、学校のホームページやメール配信サービスが活用されている。	34.9%	57.8%	6.4%	0.9%	92.7%	7.3%
	27	個別の教育支援計画や個別の指導計画（自立活動・各教科等）について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、保護者に開示・説明している。	46.8%	51.4%	1.8%	0.0%	98.2%	1.8%
	28	部会や学年会などで教職員が意見を出し合って意思決定する場として有効に機能している。	30.3%	55.0%	13.8%	0.9%	85.3%	14.7%
	29	事故・事件・災害等の際、マニュアルに沿って適切に対応ができるよう役割分担が明確されている。	24.3%	65.4%	10.3%	0.0%	89.7%	10.3%
	30	校内研修が計画的に実施され、教育実践に役立っている。	25.9%	60.2%	13.0%	0.9%	86.1%	13.9%
	31	初任者を含む経験の少ない教職員を育成するために学校全体で育成する体制がとれている。	11.9%	53.2%	33.0%	1.8%	65.1%	34.9%
32	研究授業・授業研究を通して、授業方法等について意見を交換したりしている。	17.4%	54.1%	25.7%	2.8%	71.6%	28.4%	
33	研修・研究に参加した成果を、学年、教科、分掌等、必要な教職員間で共有している。	18.3%	49.5%	27.5%	4.6%	67.9%	32.1%	
34	支援教育の専門性を高めるために研修会等に参加して知識・技能・教養を向上させる努力をしている。	22.0%	56.9%	19.3%	1.8%	78.9%	21.1%	
35	必要な場面でヒヤリハットを迅速に報告するように心がけ、また、ヒヤリハットの報告をもとに、指導体制・方法等を振り返り、安全・安心な教育活動に役立っている。	25.7%	62.4%	11.9%	0.0%	88.1%	11.9%	